

1

歌論

無名抄

本書↓p.4／解説書↓p.4

問二

㊦ ㊦ 理解する ㊦ ㊦ おつしやる

〈4点×2〉

問三

㊦ ㊦ ハ行下二段活用・加ふ ㊦ ㊦ マ行上一段活用・見る
㊦ ㊦ ヤ行下二段活用・見ゆ ㊦ ㊦ マ行四段活用・よむ

〈2点×4〉

問四

1 ㊦ カ行下一段活用・命令形 2 ㊦ ワ行下二段活用・連用形
3 ㊦ ヤ行上二段活用・連用形 4 ㊦ ナ行下二段活用・已然形

〈1点×4〉

問五

A ㊦ 田鶴 B ㊦ 竜

〈2点×2〉

問六

ア

〈8点〉

問七

雲に住むことがあるだろうか、いやありはしない。

〈6点〉

問八

深く考えずに他人を非難する癖があるから。(20字)

〈12点〉

2

説話

宝物集

本書↓ p. 6 / 解説書↓ p. 8

問二

㊦ ㊦ 死ぬ ① ㊦ 国王(天皇)

〈4点×2〉

問三

㊦ ㊦ サ行変格活用・連用形 ㊦ ㊦ ラ行変格活用・終止形
㊦ ㊦ カ行変格活用・終止形

〈2点×3〉

問四

1 ㊦ あら 2 ㊦ 死ぬる 3 ㊦ き 4 ㊦ し

〈1点×4〉

問五

狩りをおやめになった。

〈6点〉

問六

I ㊦ 自分が国王に献上される順番(13字)
II ㊦ 一日分の鹿が増える(9字)

〈8点×2〉

問七

ウ

〈10点〉

問二

㊦ ㊦ 長年・数年来 ㊦ ㊦ 優美だ・上品だ

〈4点×2〉

問三

㊦ ㊦ ク活用・連体形 ㊦ ㊦ ナリ活用・連用形

〈2点×4〉

㊦ ㊦ ク活用・連用形 ㊦ ㊦ シク活用・終止形

問四

〈1点×4〉

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	活用の種類
なし	な	(く)から	くかり	し	きかる	けれ	○かれ	ク活用
いみじ	いみ	(じく)じから	じくじかり	じ	じきじかる	じけれ	○じかれ	シク活用
きよらなり	きよら	なら	なり	なり	なる	なれ	(なれ)	ナリ活用
漫々たり	漫々	(たら)	たり	たり	たる	(たれ)	(たれ)	タリ活用

問五

(1) 促音便・ウ音便

〈2点〉

(2) 客人としてやって来てかなり長くお話しになる。

〈5点〉

問六

ア

〈5点〉

問七

忠度が荒々しく使う扇の音。(13字)

問八 ウ

〈各7点〉

問九

イ

〈4点〉

4

歴史物語

大鏡

本書 ↓ p.11 / 解説書 ↓ p.17

問二 ㊦ ㊦ 参上する ㊩ ㊩ 退出する

〈4点×2〉

問三 ㊶ ㊶ 尊敬・連用形 ㊷ ㊷ 打消意志・終止形

〈3点×2〉

問四 (1)

〈1点〉

ず		未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形	
ざら	(ず)	ず	ず	ず	ぬ	ね	○	未然形
ざり								接続
○								
ざる								
ざれ								
ざれ								

(2) 1 ㊦ 反実仮想 2 ㊦ 使役 3 ㊦ 使役 〈1点×3〉

問五 鬼につかまれたことによる恐怖を見せまいと我慢する様子。(27字) 〈10点〉

問六 ウ 〈7点〉

問七 イ 〈3点〉

問八 ア 問九 ア 〈各6点〉

5

説話

今昔物語集

本書 ↓ p.14 / 解説書 ↓ p.22

問二

㊦ ㊦ 徒歩で ① ㊦ つまらない・無駄だ

〈4点×2〉

問三

㊦ ㊦ 願望(希望) ㊦ ㊦ 意志(勧誘) ㊦ ㊦ 受身 ㊦ ㊦ 推量

〈2点×4〉

問四

1 ㊦ エ 2 ㊦ ク 3 ㊦ キ 4 ㊦ ウ

〈1点×4〉

問五

せ／むず／らむ

〈4点〉

問六

1 ㊦ 女房の車から男のような大きな声がする(18字)

〈7点×2〉

2 ㊦ 乗っている人の正体がわからない(15字)

問七

イ・エ

〈6点×2〉

6

説話

寢覚記

本書 ↓ p. 16 / 解説書 ↓ p. 26

問二

㉞ ㉞ 交際する ㉞ ㉞ 格別である

〈4点×2〉

問三

㉞ ㉞ 強意(確述)・終止形 ㉞ ㉞ 完了・連体形
㉞ ㉞ 過去の原因推量・連体形

〈3点×3〉

問四

1 ㉞ 思ったけれども、 2 ㉞ 討ったり討たれたり、
3 ㉞ 出家がしたい。 4 ㉞ 苦しいことよ。

〈1点×4〉

問五

(1) もとの妻のもとにはめつたにも通わなくなってしまった。
(2) ア

〈5点〉

問六

夫がもとの妻と会ったことに対する憤り。(19字)

〈8点〉

問七

イ

〈8点〉

問二

ア || 夜通し・一晩中 ① || 起こす

〈3点×2〉

問三

a || 完了(存続) b || 願望(希望) c || 過去 d || 打消
e || 過去 f || 存続(完了) g || 完了 h || 詠嘆

〈1点×8〉

問四

① || どんな人にも結婚させたく思っただけでも、
③ || 詠んだところ、

〈5点×2〉

問五

落ちぶれてしまい、輿や車に乗ることもできなくなったから。(28字)

〈7点〉

問六

ウ

〈6点〉

問七

エ

〈7点〉

問八

(1) ウ

〈2点×3〉

(2) 今母之力不能痛(7字)

(3) D

8

軍記物語

平治物語

本書↓ p.21／解説書↓ p.35

問二

- ア 幼い ① はかない命

〈4点×2〉

問三

- ① 推量・連体形 ② 打消意志・終止形
③ 適当(当然)・連体形

〈3点×3〉

問四

- 1 来たらしい。

〈1点×2〉

問五

- 2 不自由することはないだろう。
① どうして知らないはずがあるうか、いや知っているはずだ。
③ いとおしんでいるのだろう。

〈4点×2〉

問六

三人の孫が、何事もなければ長く生きていくであろうということ。(30字)

〈10点〉

問七

エ

〈7点〉

問八

イ

〈6点〉

9

日記

更級日記

本書 ↓ p. 24 / 解説書 ↓ p. 40

問二

㊦ ㊦ 漢詩 ㊦ ㊦ 歌を詠んで贈る

〈4点×2〉

問三

ラ行変格活用 of 動詞「あり」 of 連体形 of 撥音便と、伝聞 of 助動詞「なり」 of 終止形

〈5点〉

問四

1 ㊦ 朝日がさすように見える (朝日がさすようだ)。

〈1点×4〉

2 ㊦ 音がするように聞こえる (音がするようだ)。

3 ㊦ なっていくようだ。

4 ㊦ 言うということだ。

問五

頼み込むことができない

〈5点〉

問六

長恨歌を物語に書き直したものを借りるのに適当なつてを探して (29字)

〈8点〉

問七

エ

〈8点〉

問八

イ

〈12点〉

問二

㊦ ㊦ 趣深い ㊦ ㊦ つらい

〈4点×2〉

問三

㊦ ㊦ 断定・終止形 ㊦ ㊦ 完了・連体形 ㊦ ㊦ 存在・連体形

〈3点×3〉

問四

(1) 1 ㊦ 例示・連体形 2 ㊦ 断定・連用形

〈1点×2〉

(2) 1 ㊦ ウ 2 ㊦ イ 3 ㊦ ア 4 ㊦ エ

〈1点×4〉

問五

(1) 同じようであった。

〈7点〉

(2) 空に浮かぶ月が暗い海に映っている様子。(19字)

〈10点〉

問六

ア

〈10点〉

問二 ア 〓その当時 ① 〓亡くなる

〈4点×2〉

問三 a 〓断定の助動詞「なり」連用形

〈3点×2〉

b 〓完了の助動詞「ぬ」連用形

問四 1 〓きつと長くなるだろう。

〈1点×3〉

2 〓食べてしまった。

3 〓人が見てしまっているだろうか。

問五 ① 〓くずれてしまったなあ

〈4点〉

③ 〓どうして院の御所で詠むような歌にこの言葉を詠んでよいことがあろうか、いやよくない。

〈6点〉

問六 帝や后の死を連想させる言葉が使われていること。(23字)

〈10点〉

問七 (1) ウ

〈8点〉

(2) イ

〈5点〉

問二

ア ㊦ うわさ ㊦ ㊦ だいたいよい・悪くはない

〈4点×2〉

問三

a ㊦ ア・4 b ㊦ エ・2

〈3点×2〉

問四

① ㊦ 法師になってしまったのだろうか、

〈4点×2〉

④ ㊦ 突然身を隠してしまった。(突然姿を消してしまった。)

問五

ウ

〈6点〉

問六

イ

〈6点〉

問七

夫が真意を告げないまま姿を消したことをひどく嘆く気持ち。(28字)

〈10点〉

問八

イ

〈6点〉

問二

㊦ 物思いに沈んでぼんやりと見る ㊦ 本当に

〈4点×2〉

問三

(1) ㊦ 撥音便・ざるなり ㊦ イ音便・あかし

〈2点×2〉

(2) ㊦ ㊦ ㊦ ㊦

〈2点×3〉

問四

1 ㊦ エ 2 ㊦ ウ 3 ㊦ ア 4 ㊦ イ

〈1点×4〉

問五

私が行く先もわからず飛んで行って消えてしまったならば、あなた(妹)はどう思うだろうか。

〈4点〉

問六

ア

〈6点〉

問七

ウ

〈5点〉

問八

その場に留まって、萩の葉が返事をするまで笛を吹き続けること。(30字)

〈7点〉

問九

ウ

〈6点〉

問一

- ① 〓 当然 ② 〓 推定 ③ 〓 意志 ④ 〓 断定

〈5点×4〉

問二

- (1) 「ぬ」 〓 強意 「べく」 〓 推量

〈5点×2〉

- (2) ウ

〈10点〉

問三

思ったとおり女は鬼であつたよ。(15字)

〈10点〉

問二

㊦ 思いがけない

〈3点×2〉

① 〓 みすばらしく姿を変える・地味な格好にする

問三

㊦ 〓 オ ㊦ 〓 キ ㊦ 〓 シ ㊦ 〓 ア ㊦ 〓 コ

〈2点×5〉

問四

1 〓 ケ 2 〓 エ 3 〓 イ 4 〓 サ

〈1点×4〉

問五

手足が本当に汚い尼で、涙を流して念仏を唱える尼がございます。

〈6点〉

問六

イ

〈8点〉

問七

仏道修行に一心に励むこと。(13字)

〈8点〉

問八

ウ

〈8点〉

問二

ア 〓 すぐに ① 〓 なぜ

〈4点×2〉

問三

a 〓 イ b 〓 ウ

〈3点×2〉

問四

ウ

〈6点〉

問五

トキが遠くまで飛んでから射落とした点。(19字)

〈10点〉

問六

③ 〓 射落としたならば、

〈5点×2〉

④ 〓 射落としたので、このように羽は傷まない。

問七

エ

〈10点〉

問二

㊦ 心が穏やかではない

〈4点×2〉

問三

㊦

㊦ 驚きあきれるばかりだ

〈3点〉

問四

A ㊦ウ B ㊦ア C ㊦エ

〈3点×3〉

問五

たとえ多く食べるとしても、

〈5点〉

問六

僧が橘の実を惜しみ、少しも自分に与えてくれなかったこと。(28字)

〈10点〉

問七

ウ

〈7点〉

問八

イ・オ

〈4点×2〉

問二

ア 〓 数日 ① 〓 つらい・情けない

〈4点×2〉

問三

a 〓 つる／完了・連体形 b 〓 ん／推量・連体形

〈4点×2〉

問四

あらめ(あれ)

〈3点〉

問五

1 〓 A 2 〓 B 3 〓 A

〈1点×3〉

問六

証空律師が夢の内容に驚き恐れると思ったが、逆に喜んだから。(29字)

〈12点〉

問七

智者であるからこそ、この律師にまでも昇進したのだろうか、

〈6点〉

問八

エ

〈10点〉

問二

ア ㊦ かわいらしい(いとしい) ㊧ ㊦(自然に)思われる

〈4点×2〉

問三

1 ㊦エ 2 ㊦ウ 3 ㊦オ 4 ㊦ア

〈1点×4〉

問四

① ㊦ ㊦ たいそうかわいらしい子どもまでできてしまったので、

〈5点×2〉

③ ㊦ ㊦ 立ち止まることができないことがあつて出発する

問五

あまり会わない自分のことを忘れずに、たいそう慕ってくれる点。(30字)

〈10点〉

問六

(1) 一人と火取(完解)

〈5点〉

(2) ウ

〈7点〉

問七

ウ

〈6点〉

問二 ㊦ ㊦ 並一通りでない・格別だ ㊩ ㊦ そのまま

〈3点×2〉

問三 1 ㊦ 長くあつてほしいと思うものだなあ。

〈2点×3〉

2 ㊦ ひっそりと隠れてしまうものよ。

3 ㊦ お髪だなあ。

問四 ああ、せめてあのような身だけでもありたいものだ。

〈5点〉

問五 ア

〈8点〉

問六 和歌を贈ってきた主人はどのような風流人であるのかということ。(30字)

〈12点〉

問七 イ

〈7点〉

問八 (1) イ

〈2点〉

(2) ア

〈4点〉

21

歌物語

伊勢物語

本書↓ p. 52 / 解説書↓ p. 92

問二

A 〓 男 B 〓 男 C 〓 女あるじ
D 〓 男 E 〓 男 F 〓 女あるじ

〈2点×6〉

問三

エ

〈8点〉

問四

夫が宮仕えに忙しく、妻である自分に誠実でなかったから。(27字)

〈15点〉

問五

もし女主人が酌をしないならば飲むまい。

〈7点〉

問六

ウ

〈8点〉

問二 ㊦ Ⅱ いらつしやる ㊧ Ⅱ 人目を避ける

〈4点×2〉

問三 いとど・いたく

〈3点〉

問四 1 Ⅱ げに／なるほど・本当に

〈2点×4〉

2 Ⅱ はなはだ／たいそう

3 Ⅱ なべて／総じて・おしなべて

4 Ⅱ やがて／そのまま

問五 ① Ⅱ エ ② Ⅱ イ

〈8点×2〉

問六 弁の御息所の、返歌もしないうちに在中将が亡くなったことをたいそう
嘆く気持ち。(38字)

〈15点〉

問二

㊦ ㊦ まねをする ㊦ ㊦ つらく思う

〈4点×2〉

問三

ウ

〈3点〉

問四

1 ㊦ 逢坂の関(の番人)は(あなたを通すことを)決して許さない
 だろう。 ㊦ 1点×5

2 ㊦ 少しも違わなかった。

3 ㊦ 秋にはほとんど劣らないだろう。

4 ㊦ 毎回のようには参上することができない。

5 ㊦ 月をご覧にならないでください。

問五

ア

〈5点〉

問六

決して拌みなさるな。

〈7点〉

問七

優婆崛多が、仏をまねた自分(天魔)を見て感動し、
 拌んでしまったから。

〈12点〉

(30字)

問八

エ

〈10点〉

問二 ア 〓 病気で苦しむ ① 〓 言うまでもない

〈4点×2〉

問三 a 〓 動詞 b 〓 連体詞 c 〓 名詞(代名詞)

〈1点×5〉

d 〓 だから e 〓 それならば

問四 1 〓 ウ 2 〓 ア 3 〓 イ 4 〓 オ 5 〓 エ

〈1点×5〉

問五 ア

〈8点〉

問六 一方では驚きもう一方では賞賛して、

〈6点〉

問七 上戸仲間にまで命や生活を心配されるほど主が痛飲していたこと。(30字)

〈12点〉

問八 ア

〈6点〉

問二

- ア 〓 いらつしやる イ 〓 おつしやる

〈4点×2〉

問三

- ① 〓 尊敬語／ウからア ② 〓 尊敬語／キからア
 ③ 〓 謙讓語／キからイ ④ 〓 謙讓語／カからイ

〈2点×5〉

- ⑤ 〓 謙讓語／キからイ

問四

- 1 〓 尊敬語・惟喬の親王

〈1点×2〉

- 2 〓 謙讓語・帝

問五

天が与える位を受ける人こそ賢王と申し上げるが、

〈6点〉

問六

伯父の王位を奪ったうえ、その后を自分の后としてしまった行為。(30字)

〈15点〉

問七

ア

〈9点〉

問二

ア 〓 先立たれる イ 〓 我慢する

〈4点×2〉

問三

a 〓 カ b 〓 ウ c 〓 カ d 〓 ウ e 〓 ウ f 〓 イ

〈1点×6〉

問四

1 〓 見つけ申し上げたけれど、

〈1点×4〉

2 〓 お尋ねになる。

3 〓 見まして、

4 〓 見捨て申し上げることが

問五

① 〓 種類 〓 謙譲語 訳 〓 情けなく存じまして(思いまして・

〈5点×2〉

思い申し上げて、

④ 〓 種類 〓 尊敬語 訳 〓 感動なさる。

問六

物を盗む欲望にまかせて、灰までも食べるというつまらない心。(29字)

〈12点〉

問七

イ

〈10点〉

問二

ア 美しい ① 残念だ

〈3点×2〉

問三

a 謙讓語・作者から帝

〈2点×3〉

b 尊敬語・帝から帝

c 尊敬語・作者から帝

問四

(1) 1 ム 2 ア 3 イ

〈1点×3〉

(2) 1 おやすみにならないで 2 申し上げよう。

〈1点×2〉

問五

帝はこれであろうとお思いになって、

〈4点〉

問六

エ

〈5点〉

問七

帝が自分を連れて行かず、元の姿を見たら帰ると言ったから。(28字)

〈12点〉

問八

ウ

〈7点〉

問九

イ

〈5点〉

問二

ア 隔て心がない ① おつしやりかけてやめる

〈3点×2〉

問三

a ウ b イ c ア d ア

〈1点×4〉

問四

ア 作者から宮

〈1点×4〉

イ 作者から内の大

ウ 皇子からかぐや姫

エ 皇子から翁

問五

(1) 頼り申し上げなさっているだろうことが気の毒だ。

〈5点〉

(2) エ

〈7点〉

問六

ウ

〈4点〉

問七

自分が玉鬘に恋心を抱いているということ。(20字)

〈10点〉

問八

エ

〈5点〉

問九

エ

〈5点〉

問一

- a 〓 イ b 〓 ア c 〓 ア d 〓 イ e 〓 ア f 〓 ア

〈2点×6〉

問二

- A 〓 オからア B 〓 エからア

〈2点×2〉

問三

- ① 〓 言い含めなさつて、

〈4点×2〉

- ② 〓 派遣なさると、

問四

- ③ 〓 このような勅命を帝からいただいて聖のもとへ参上した旨
を絵師たちが聖に申し上げたところ、

〈7点×2〉

- ⑤ 〓 絵師たちは聖の姿を写し申し上げて、帝のもとに（絵を）持つて参上
したところ、

問五

- 大切な聖の像を書き損じるわけにはいかないから。

〈7点〉

問六

- イ

〈5点〉

30

歌物語

大和物語

本書 ↓ p. 72 / 解説書 ↓ p. 130

問二

① ㍯エ

② ㍯ア

〈9点×2〉

問三

㉔

〈8点〉

問四

イ

〈12点〉

問五

ア

〈12点〉